

北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の建設促進を求める意見書

北海道新幹線は、我が国の高速交通体系の骨格を形成する上で極めて重要な国家的プロジェクトであり、国全体の経済の発展及び生活領域の拡大並びに北海道の振興に欠かすことのできない社会資本である。

その効果は、札幌まで延伸されてこそ最大限に発揮されるものであり、本市においては、新幹線の開業を見据えてまちづくりや民間投資が進められているところである。

こうした中で、去る3月14日、国土交通省の北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の整備に関する有識者会議が、現時点では、おおむね2038（令和20）年度末頃の完成・開業を見込み、工程への影響が大きいさらなるリスクが生じた場合、さらに数年単位で遅れる可能性があるとの報告書を取りまとめ、国土交通大臣に報告した。

完成・開業に大幅な遅れが生じる見通しとなったことは、人の流れの変化や経済効果発現の時期の遅れに直結し、開業により生じるはずであった機会や利益の損失が極めて大きなものとなり、誠に遺憾である。

よって、国会及び政府においては、北海道新幹線（新函館北斗・札幌間）の建設促進に関し、下記の事項を実施するよう強く要望する。

記

- 1 工期短縮に向けた検討を継続して行い、新函館北斗・札幌間の一日も早い完成・開業を目指すこと。
- 2 開業の遅れに伴う影響を最小限に抑えるための方策や、新たな地方負担が生じないよう適切な措置を講じること。

以上、地方自治法第99条の規定により、提出する。

2025（令和7）年3月28日

札幌市議会

（提出先）衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、
国土交通大臣

（提出者）自由民主党、民主市民連合、公明党、坂元・荒井及び日本維新の会
所属議員全員並びに山口かずさ山口かずさ議員、
未来さっぽろ成田祐樹議員及び大地さっぽろ脇元繁之議員